

平成24年度教育事業

「東北地区学校教育に活かす体験学習指導者講習会（6月開催）」

事業報告書

1 趣旨

体験活動の手法や考え方を体験を通して学び、集団の中で望ましい人間関係づくりや個人の自己肯定感を高めるための指導技術を身につける。

2 主催

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立花山青少年自然の家

3 協力

(株)プロジェクトアドベンチャー ジャパン、MAP研究会

4 後援

青森県教育委員会、岩手県教育委員会、宮城県教育委員会、秋田県教育委員会、山形県教育委員会、福島県教育委員会

5 期日

平成24年6月2日（土）～6月3日（日） [1泊2日]

7 参加対象と人数

学校教育関係者、青少年教育関係者、NPO法人関係職員、学生、その他興味をお持ちの方 30名

8 参加状況

	宮城県		青森県		岩手県		山形県		福島県		その他		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
学校教育関係者	3	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6
青少年教育関係者	2	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	7
NPO法人関係職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学生	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6
その他	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
計	8	7	0	0	2	1	1	0	1	0	1	0	22
	15		1		3		1		1		1		

※その他は、東京都からの参加者

9 日程

	6月2日(土)	6月3日(日)
午前	◇受付 9:30(事務室側玄関ホール) ◇開講式 10:00(プレイホール) ◇実習1 10:20~12:00(プレイホール) 「学びあう関係をつくる」 (株)プロジェクトアドベンチャージャパン トレーナー 高野 哲郎 氏 MAP研究会 安達 章美 氏 遠藤 安孝 氏 滝野澤 純子 氏	◇実習4 9:00~12:00(冒険の森) 「信頼感を高めるグループワーク」 (株)プロジェクトアドベンチャージャパン トレーナー 高野 哲郎 氏 MAP研究会 安達 章美 氏 遠藤 安孝 氏 滝野澤 純子 氏
午後	◇実習2 13:00~17:30(冒険の森) 「課題解決型グループワーク」 (株)プロジェクトアドベンチャージャパン トレーナー 高野 哲郎 氏 MAP研究会 安達 章美 氏 遠藤 安孝 氏 滝野澤 純子 氏	◇実習5 13:00~15:30(大研修室) 「ふりかえりを学びに活かす」 (株)プロジェクトアドベンチャージャパン トレーナー 高野 哲郎 氏 MAP研究会 安達 章美 氏 遠藤 安孝 氏 滝野澤 純子 氏 ◇まとめ 15:30~15:40(大研修室) ◇閉講式 15:40~15:50(大研修室)
夜	◇実習3 19:00~21:00(大研修室) 「体験を学びにつなげる手法」 (株)プロジェクトアドベンチャージャパン トレーナー 高野 哲郎 氏 MAP研究会 安達 章美 氏 遠藤 安孝 氏 滝野澤 純子 氏	

10 実施状況

【6月2日(土)】

◇実習1 「学びあう関係をつくる」



初めて出会う参加者同士のコミュニケーション
(フィールドジャンケン)

【アクティビティリスト】

- 体験から学ぶこと
- フィールドジャンケン
 - ①勝って進む
 - ②負けて進む
- ラインナップ
 - ①花山までの時間
 - ②睡眠時間
 - ③名前(サインなし)
- ミラーストレッチ
- 2人でストレッチ
- みんなおに
- 2人おに



午前の活動を終えて（ふりかえり）

【アクティビティリスト】

- 呼ばれたい名前
- （ネーム）ピンボール
- ユーミーリサ
- 大切にしたいこと（一生懸命、安全に、公平に、楽しく）
- OMIX（ユーミーリサ&大切にしたいこと）
- オクラホマミキサー

◇実習2「課題解決型グループワーク」



冒険の森での課題解決活動（TPシャッフル（上）、ホエールウォッチング（下））

【アクティビティリスト】

- 自己紹介
- ハブユーエバー
- ペアフル
- エルポー・ニータッチ
- ピープル・トゥ・ピープル
- かるがも親子
- ビート
- フーブリレー（ギアBOX）
- ふりかえり（大切にしたいこと）
- TPシャッフル
- 達成度メーター
- ふりかえり（3人で）
- Pシューター
- ホエールウォッチング（ジャイアントシーソー）
- ニトロクロッシング

◇実習3「体験を学びにつなげる手法」



参加者全員による目標設定（ビーイング）

【アクティビティリスト】

- エーデルワイス
- あんたがたどこさ
- 体験学習サイクル
- 目標設定（人とのかかわりとしての）

◇実習4 「信頼感を高めるグループワーク」



信頼感で一步踏み出す
(モホークウォーク)



ハイレメントでのチャレンジ (写真上)
(手つなぎトラバース)



パートナー・ビレーヤーと成功を分かち合う
(写真下)

【アクティビティリスト】

- 花山 森の美術館
(今日の調子の彫刻)
- Being (昨日の学びの確認)
- ウインドミルストレッチ
- フェンシング
- 2人でストレッチ
- ネームトス (ボール・紙ひこうき・ネーム回し)
- トライアングルおに
- モニタリングメンバー
- モホークウォーク
- ふりかえり
 - ①目標達成レベル
 - ②3人でふりかえり

ハイレメント

- キャットウォーク
- 手つなぎトラバース
- PM ↓
- Being

◇実習5 「ふりかえりを学びに活かす」



MAP 研究会講師によるワークショップ
(協力パズル)

【アクティビティリスト】

- 協力パズル
(MAP 研究会ワークショップ)
- 2日間のふりかえり



学校で活かす体験学習の掲示物

11 成果と課題

【成果】

- ・「目標にむかう意識」、「体験から学ぶこと」という大目標については参加者に伝わった。
- ・参加者の満足度は高く、このような体験を、求めている人や必要としている人が多くいることがわかった。
- ・MAP研究会としてワークショップの時間を提供できたこと（学校教育に活かす活動）は有意義であった。

【課題】

- ・活動中やふりかえりの中では声に出なかったことが、感想の記録から見えている。そこが表に出てくるようになるにはどうしたらよいか考えさせられた。
- ・但し、「現場に戻ったら…」と悩むところが残る人もいるのではないかと考える。それが次回のチャレンジに繋がればと期待している。うまくいかないこともあり、満足感だけではないモヤモヤ感もPA体験の醍醐味だと考える。
- ・指導者としての視点を外し、人と人とのかかわりやカウンセリングのスキルも、次回の事業で伝えなければならない。